

函館 蔦屋書店 de 江差 江差町 ~秋の蔦屋書店が江差色に染まる日

10日、11日両日開催されました「函館 蔦屋書店 de 江差～秋の蔦屋書店が江差色に染まる日」へご来場いただきありがとうございました。初会場、初出店と初めて尽くしの久々のイベントでした。ご来場の皆様には、楽しんでいただけましたでしょうか。函館蔦屋書店でのイベントの様様を一部ご紹介いたします。



—北前船の模型—



—姥神祭半纏 13着—



—ミニ山車—



—江差の夕陽写真 96点—



—江差の風景写真 30点—

1階、2階会場を江差色に装飾しました。北前船、ミニ山車の前で記念撮影をしていた方もいました。96枚の夕陽の写真を飾り「江差の夕陽で総額100万円グランプリ」をPR。スクリーンを利用し、江差町の風景、イベント等の紹介。1階暖炉スペースは、江差の風景30点を展示しました。



—映像でのPR—

江差町を代表する郷土芸能披露

10日(土)



第29回江差追分全国大会優勝者木村香澄さんが江差追分と民謡を披露。会場の皆さんに、江差追分の唄い方を指導し、もっと気軽に追分を楽しんでほしいと江差追分の魅力をPRしていました。



11日(日)



保存会の皆さんによる餅つき囃子の迫力と軽快な杵さばきに、来場者から拍手と歓声が。この後、来場者に餅をふるまいました。

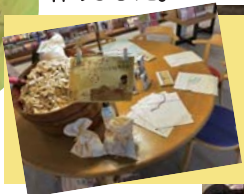
体験コーナー

江差町の文化にゆかりある体験コーナーで、親子で楽しめる空間を設置。



ハンコづくり体験～
松浦武四郎と頼三樹三郎が旅の途中の江差町で一日に松浦が100のハンコを頼が100の漢詩を作りあう「百印百詩」にちなみ「ハンコづくり体験」を行いました。

ひばチップでサシ作り体験～
北前交易の重要な物資であった「ヒバ」を使って、匂い袋サシ作りを行いました。
スタンプはんかち作り体験～
好きなスタンプを押してオリジナルはんかちを作りました。



米すくいコーナー



江差産の新米「ふつりんこ」を10秒間に「れんげ」を使って、何合すくえるか来場者に挑戦していただきました。子供から主婦層まで、楽しく挑戦していましたが多い方では、4～5合ほどをすくっていました。

文化・食・夕陽・祭トークショー

江差町の「文化」「食」などについて、江差町に縁のある出演者の皆さんから貴重なお話を聞くことができました。お話は「江差愛」に溢れたもので、あらためて江差町の魅力を再発見できました。ご出演の皆様、ありがとうございました。

及川氏 (木工職人)
玉利氏 (クオアチア出身)
中島氏 (江差にしえ資源研究会)



「江差の文化を追い求めて
～下駄職人への挑戦」

10日
Sat

鹿能氏 (プロジェクト実行委員)
久米氏 (プロジェクト実行委員)
高岡氏 (プロジェクト実行委員)



「江差の夕陽を日本一へプロジェクト」

11日
Sun



「大きな可能性を秘めた
江差の食」

深谷氏 (レストランバスク)
藤谷氏 (メゾンフジヤ函館)
室谷氏 (江差にしえ資源研究会)



「姥神大神宮渡御祭
～みんなが熱狂する祭りの魅力」

沼田氏 (函館教育大生)
遠藤氏 (函館教育大生)
パメラ氏 (フランス出身)
夏原氏 (姥神大神宮祭典協賛実行委員会)

江差。うまいもの市

お陰様で、たくさんの来場者に江差町の美味しい味をお届けすることができました。



郷土菓子の「こうれん」などのお菓子類から加工品を販売。函館初出店の大福は人気がありました。



江差の海の幸が勢ぞろい!お買い得価格にお客様から驚きの声が・・・。



五勝手屋本舗 10日 (土) 出店

ひやま漁協女性部江差支所 11日 (日) 出店



10日
Sat



11日
Sun



秋の味覚、和栗の和菓子を始め本店限定商品と五勝手屋ロールなどがお目当てのお客様で行列ができていました。